

令和5年10月31日発行

法人理念

人が人として人とともに豊かに生きる

基本方針

1. わたくし達は人との出会いを大切にします
2. わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
3. わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
4. わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
5. わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます



社会福祉法人 甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター

〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町2番9号 TEL:0798(47)4477 FAX:0798(43)1022

HP: <https://www.sunago.or.jp> E-mail: mail@sunago.or.jp



重症児者通所支援室

つばさ.....

通所支援室では、いろいろな活動で夏を感じて楽しみました。

つばさでは「涼を感じたりお祭り気分を楽しむ」というテーマで、かき氷を作る音を聞いたり、冷たさを体験する感触あそびをしたり、風鈴の音色を聴いたり、アイスタオルやミントスプレーを使って、涼しい気分になりました。また、金魚すくいや魚釣り、ラムネを用意して縁日あそびも楽しみました。金魚をじっと見ながらポイを持つ手に集中し、たくさん金魚がすくえると嬉しそうにされていました。

放課後等デイサービスさくらんぼは、夏休みに入ると朝からの通所になるので、つばさの方と一緒に夏の活動を楽しんだり、一人ひとり作りたいものを決めて張り子作りも始めました。新聞紙や半紙を破ったり、筆を持って土台に紙を貼り付けたりと皆一生懸命に取り組み、年末に持ち帰りできるように仕上げている予定です。

児童デイサービスさくらんぼでは、手遊びでかき氷をイメージしてから実際にかき氷を作ったり、プールや夏祭りを楽しんだりしました。初めての折り紙では、お母さんとセミを折ることに挑戦し、職員が折った虫と合わせて虫とりをしました。うまくとれると自信がついた表情を見せながら繰り返して遊び、季節を感じながら友達を意識する姿もたくさん見られて良かったです。

次は、秋を楽しんでいきたいと思えます。

奈良 祐里子



2階病棟

馬場 貴大

9月に院外活動で神戸にある「AQUARIUM×ART atoa」水族館に行ってきました。当日、雨予報で心配されていましたが、天気に恵まれ、無事水族館に出発することができました。行きのバスの中では音楽を聴きながら目的地に向かい、外を眺めたり、バスの揺れで笑顔になる方もいらっしゃいました。そして到着すると、美術館のような建物に全員で驚いてしまいました。また、館内には写真映えスポットが多くあり、球体や筒型といった今までにないような形の水槽を生き生きと泳ぐ魚達に、利用者の方々はとても興味深く見入っていました。帰り道では、バス内でウトウトされていましたが、とても楽しい時間を過ごせました。



3階病棟

栗田 彩歌

8月20日に、3階病棟では誕生日会として花火大会を行いました。

いつもより夕食を早めに済ませ、女性陣は浴衣に衣装チェンジして1階地域交流スペースに全員大集合。みんなで8月のお誕生日の方をお祝いした後、メインイベントの花火の始まりです！！8月の誕生日者の方々が最初に手持ち花火を体験しました。手持ち花火を体験された方々は怖がる様子もなくしっかりと花火を握り、ご自身で持っている花火をじっと見て楽しんでいらっしゃいました。

その後、利用者全員で外に出て打ち上げ花火を鑑賞しました。空を見上げてうっとりしている方もいれば、目を輝かせている方もいらっしゃいました。中には大きな音に少し驚いたような表情や声を出している方もいらっしゃいましたが、慣れてくると花火の美しさを見て笑顔を浮かべておられました。また、YouTubeを活用して中庭の様子が病棟内のテレビで見られるようにしていたため、どこにいても花火を楽しんでいただけました。

思う存分夏の風物詩を楽しんで頂けたようで、終了後には「また来年しようね」と職員に話しかけてくださる利用者の方もおられ、3階病棟での夏の恒例行事となりそうです。



4階病棟



福井 瑞稀

4階病棟では7月30日にグループ別院内活動を行い、グループ全員の総勢11人で参加し、大賑わいでした。

14時頃に夏のデザートを食べ、夕方から夏の風物詩である花火を行ないました。

11人それぞれが自分で選んだデザートやジュースを飲食し、満足そうに笑っている利用者もいれば、自分で選んだものの思っていた味ではなかったのか眉間にしわを寄せる利用者もいらっしゃいました。

夕方からは順番に中庭へ下りて行き、花火が楽しみなのかエレベーターに乗っている時から笑顔が見られ、楽しみだと言う気持ちが伝わってきました。花火は吹上花火と手持ち花火をしました。吹上花火では笑顔が見られた方もいましたが、手持ちになると火花が近かったのか怖がっている方もおられ、11人のそれぞれ違う表情を見られて良かったです。いつかは皆で、打ち上げ花火を見に行きたいですね。



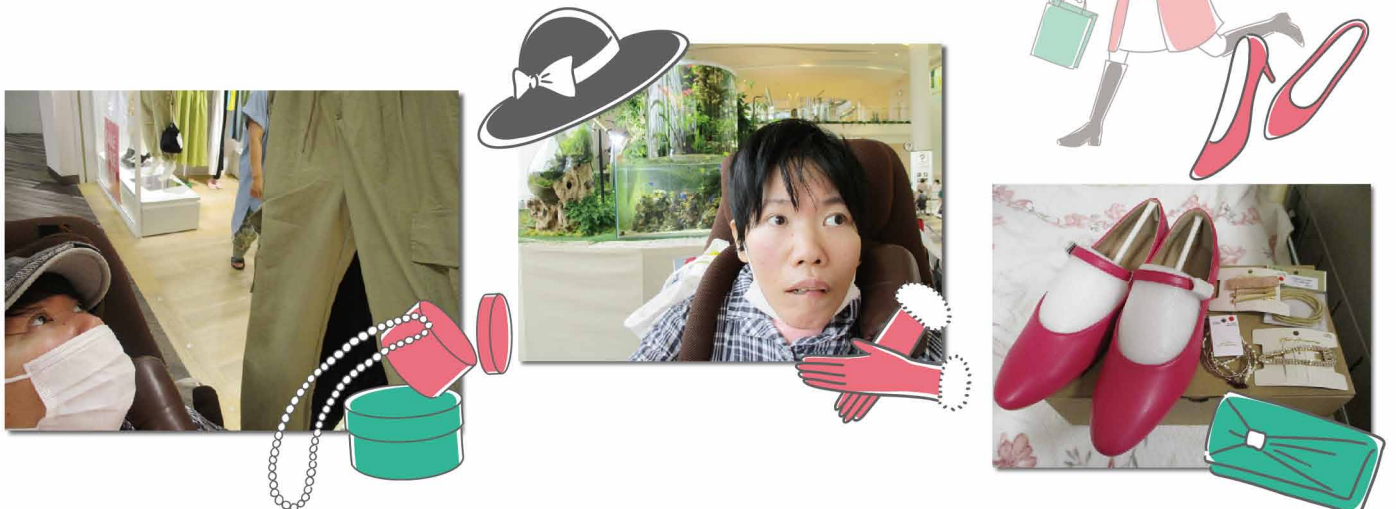
西病棟

Shopping ♡♡

佐藤 愛紗

7月14日に院外活動として、阪急西宮ガーデンズへお買い物に行きました。バスに乗っている時から外を見て嬉しそうに笑う姿が見られました。到着して館内を散策していると、店舗に掲示されているポスターをよく眺めており、書いている内容を説明すると視線を向けて興味津々。ポスターと同じ洋服を探して見つけると、ご本人が好きなお色の方に視線を向け、そちらの服を購入しました。ヘアピン選びでは「鼈甲柄」の物に口を動かすことがありました。その他の買い物でも好みでない色や柄の時は口を動かすことはなく、口が動いた物を選択し購入しました。また、靴選びでは赤いパンプスを見ると笑顔が見られましたが、試着するとサイズが合わず断念。次はピンク色の靴を見つくとジッと見つめており、試着していただくことにしました。店員さんにも「お似合いですよ」と言われて笑顔になり、楽しくお買い物をされました。

購入後も商品が入った袋が気になるようで、とても満足された様子でした。



2023年度 療★育★祭 「テーマパーク」

3階病棟 松岡 理沙

10月21日(土) 2023年度療育祭 ～すなごワンダーランド～が開催されました！

今年のテーマは「テーマパーク」。まだまだ人の多い所には行くのは難しい為、少しでも“楽しい”を感じてもらえるようにこのテーマになりました。

院長先生の挨拶を合図に始まり、各病棟では万博、絵本など様々なテーマを基にした装飾や催しが行われ、家政室の皆様も仮装をしたり、お花を使ったしおりを配ってくださったりと一緒に療育祭を盛り上げてくれました。さらに今年は、久しぶりに新人職員と役職による出し物を企画し、昼食時間に各病棟で披露することができ、利用者の方々はすなごの星をモチーフにしたハンバーグを食べながら楽しまれていました。その後のおやつも特別にフロートを提供して頂き、皆さんとても満足されていました。

フィナーレはゲストの「平野一郎さん」によるコンサート!!開始時に小雨が降っていましたが、平野さんと皆さんの歌声で雨も少しずつ上がりました。病棟のテラスにはたくさんの利用者の方々が出てこられ、楽器やシャボン玉を使用し大いにコンサートを盛り上げてくれました。最後は紙テープを投げて療育祭は閉幕となり、1日を通して皆さんの楽しむ姿を見れたことがとても嬉しく思いました。



< 3階病棟 >

早川 恵里香

3階病棟は「キッザニア」をテーマに、利用者が職業体験をしてお金を稼ぎ、そのお金でおやつを購入し食べるという流れで療育祭を楽しみました。

まずは銀行のカウンターで財布と通帳を受け取ります。「さあ、どの職業から体験しようかな。」ドキドキしながら向かいます。いい香りに誘われてやってきたのは、たこ焼きの歴史から作り方、そして実際にたこ焼きをコロコロ転がす体験と最後に試食まで出来てしまう「すな蛸」です。皆さん美味しそうなたこ焼きに目を輝かせながら体験されていました。次に軽快な音楽と共に「すなごコレクション開催中」の看板が。沢山用意された衣装の中からお気に入りを選び、ファッションショーに参加します。お洒落アイテムの眼鏡作りの体験コーナーもあり、いつもとは違う装いに、普段見ない素敵な表情を見ることが出来ました。ガタンゴトン～♫続いている体験コーナーは電車でGOさながら、自分で電車を操縦します。レバーを握る表情は皆さん真剣そのもので、電車好きにはたまらない体験となりました。

そして全てのブースで賃金を貰ったら、いよいよそれを手におやつを購入しに行きます。働いた後のおやつは格別で、皆さんいい笑顔で召し上がっていました。フィナーレのコンサートでもお洒落をしたり、楽器を持ったり歌を歌ったり、この日は病棟中に笑顔が溢れていました。



< 2 階病棟 >

馬場 貴大

2階病棟では、絵本の世界をテーマに3つのブースに分かれて療育祭を楽しみました。それぞれ「かぐや姫」「リトルマーメイド」「チャーリーとチョコレート工場」の世界観を作り、かぐや姫のブースでは、利用者と一緒に竹を割ると中からかぐや姫が！中から現れたかぐや姫とは記念写真を撮ることができました。利用者の中には、斧を持った際に「竹を切ると何が出てくるんだろう」と真剣な顔つきになり、切った後に出てきたかぐや姫のかわいい姿を見て、真剣な表情から一変して笑顔になる方もおられました。

リトルマーメイドのブースでは、アロマの匂いに包まれながらリトルマーメイドの主人公アリエルや、その他のキャラクターと記念撮影を行い、アリエルの完成度に驚いている方もおられました。チャーリーとチョコレート工場のブースでは、チョコレートの香りがどこからか漂っており、甘い香りに誘われて利用者や職員が集まっていました。このブースでは、パネルを使って写真撮影を行えるようになっており、皆さん良い表情で写真を撮ることができました。他にもリハビリテーション室や在宅支援課のブース、豪華な食事などに、利用者と職員ともに1日中笑顔が絶えまなく見られた療育祭になりました。



< 4 階病棟 >

高野 直也

4階病棟では、「すなベンチャーワールド」をテーマにして、動物園と水族館の世界を表現した2つのエリアを作りました。男性フロアは水族館で、ふれあいコーナーと巨大生物コーナー、女性フロアは動物園で、サファリパークと北極グマがいるコーナーとなり、それぞれにはスタンプコーナーも作りました。水族館のふれあいコーナーでは、箱の中に不思議そうに手を入れる利用者や、箱を持って揺らして遊ぶ利用者もいて、利用者一人ひとりで違った反応が見られました。巨大生物コーナーには、天井に巨大ダイオウイカを吊っており、その下で記念撮影をしました。職員も利用者も巨大ダイオウイカに興味津々で、人気のアトラクションのような行列になっていました。女性フロアのサファリパークには、巨大なホワイトタイガー柄のバスがあり、そのかっこよさに職員も利用者も見惚れていました。北極グマがいるコーナーでは、綿で作った熊を展示しており、触り心地が良く、利用者も職員にも人気のコーナーとなりました。他には、在宅支援課のブースやリハビリテーション室の空飛ぶ絨毯の体験、豪華な食事に笑顔いっぱいの療育祭になりました。



< 西病棟 >

中島 光晴

西病棟は「万博博覧会」をテーマにしました。西3階病棟の催しは「ウロタトモカーオの世界」として、太陽の塔の内部をイメージした幻想的な空間を再現し、その中を巡るアトラクション体験です。西4階病棟の「EXPO 2025いのちの遊び場〜クラゲ館」では、2025年大阪・関西万博のイメージとクラゲをコラボレーションし、遠くで聞こえる祭りの音や薄明かりの中に見える海を体感する内容です。一つ一つの装飾や灯り、音楽などの演出に、笑ったり、見つめたり、声を出したり、じっと起きていたり、普段とまた違った利用者の表情や仕草をいくつも発見しました。食事に関してはすなごモチーフの星形ハンバーグを中心に、デザートではフロートなど味だけではなく、見た目もワクワクするようなものばかりでした。

フィナーレでは平野一郎さんのLIVEを通じて、すべての病棟が一緒になって盛り上がる様子が印象的で、コロナ禍で遠ざかった「交流」ということを思い出しました。まだ感染状況などを踏まえるとしばらく実現には難しいかも知れませんが、いつかまたオープンな療育祭ができればもっと楽しいだろうなと感じました。

最後に2023年の療育祭を終え、この特別な日を演出できたことで利用者にとっても職員にとっても、また一つ楽しい思い出として心に刻まれていると嬉しいです。



<在宅支援課>

後藤 敬博

2023年度 療育祭のテーマは「ワンダーランド」です。在宅支援部門ではつばさ・さくらんぼ・つくし・ねっこの4部署の紹介も兼ねて、6階フリールームにフォトスポットを準備しました。また、つばさでは利用者を中心にバツサちゃんの巨大モザイクアートを作製しました。モザイクアートで使用した素材は、9月の活動の中でフィンガーペインティングといった方法で作製した万国旗をコピーしたものを利用者に破いてもらったもので、それらを貼り付けて1枚の巨大アートを作りました。そして療育祭当日には、つばさフロアにイタリアのローマにある「真実の口」が出現しました。皆、真実の口の巨大さに圧倒されていましたが、恐る恐る手を入れる人、楽しんで入れる人等、それぞれ楽しんで参加していました。午後からはリハビリテーション室で、空飛ぶ絨毯やジェットコースターの体験をしました。当日通所された18名全員が参加し、楽しむことが出来ました。来年度も在宅支援課一同で療育祭を盛り上げて行きます！



<リハビリテーション室・相談支援課>

澤田 茂

昨年に引き続き、相談支援課はリハビリテーション室と合同で療育祭に参加させていただきました。今年度は全体のテーマである「テーマパーク」にちなみ、「遊園地」をイメージした2つのアトラクションを利用者の皆さまに体感していただきました。「ジェットコースター体験」では、スウィングボードに乗って、天井に投影されたジャングルの中の映像を見ながら、ウォーターライドのスリルを味わって頂きました。動きにプラスして効果音や風、水などの刺激も加わるので、眼を見開いてびっくりされる方、楽しさのあまり「もっと乗りたい！」とアピールされる方と様々でした。「空飛ぶ絨毯」では、ランプの魔人に誘われ絨毯に見立てたマットの上に乗って、映画アラジンのテーマ「ホールニューワールド」をバックに、ボールプールの上を満天の星空の下を優雅に飛び回るといった体験していただきました。ニコニコと動きを楽しむ方、ゆったりとした雰囲気リラックスした表情を見せる方など、こちらも様々な反応がありました。

今年度は感染症の影響で交流の範囲に制限がありましたが、普段では見られない素敵な利用者の皆さまの反応・表情を、ご家族様を始めとした多くの方々に観て頂ける日が来ることを心から願っています。



<新任職員の出し物>

生活支援課 今江 昭彦

今年の療育祭では新人職員の出し物としてハンドベルの演奏会を行い、ディズニーの「イツツ・ア・スモールワールド」とリトル・マーメイドの「パート・オブ・ユア・ワールド」の2曲を演奏しました。ピアノを弾けるくらい音楽に精通した職員もいれば、楽譜が全く読めない職員もいましたが、この日のために毎月集まってお互いに教え合いながら一生懸命練習をしてきました。

いよいよ本番の療育祭の日となり、各部屋を回って利用者の方々の前で演奏をしました。利用者や職員の皆さんから応援をしてもらいながら最後まで演奏を終え、大きな拍手をいただくことができました。

練習当初はリズムもバラバラで不安だらけでしたが、力を合わせて皆さんに喜んでいただける演奏ができたことで、新人職員一同、喜びを噛みしめました。



学童夏祭り

2階病棟 橋爪 智代

8月20日(日)学童の利用者が集まり、夏祭りを行いました。

学校が休みに入ってから、看板を作ったりアラレちゃん音頭を練習したりして、ワクワクしながら当日を迎えました。

地域交流スペースには4つのブースを設置しました。射的やヨーヨー釣りのゲームをしたり、ポップコーンやかき氷を作る体験を通し音や匂いなどを感じたりしました。射的では、当たりの的に見事ヒットすると景品をもらえるようにしたのですが、少しのズレで弾が逸れてしまうので、一発ごとに「おいしい!」「もうちょっと右!!」と声が出るほど、利用者・職員とも大興奮でした。そして昼間の締めは、盆踊り。太鼓の周りに輪になって、前へ進んだり後ろへ下がったり…。アラレちゃん音頭の曲に合わせて、みんなに笑顔が溢れました。

夜には、夏の風物詩である花火をしました。手持ちは柄の長いものを用意して、実際に利用者にもってもらいました。火がついてすぐは恐る恐る持っていた方も、黄色や緑などいろいろな色の火花が散っていくと、「きれいだね。」というように目を大きく開いてじっと見つめていました。

一日を通して、みんなで楽しみ、素敵な夏の思い出ができました。



「おとのきもち」コンサート

生活支援課 宮野 紀子

9月18日敬老の日、4年ぶりに甲山福祉センター後援会から助成をいただき、文化行事としてミュージック・カンパニョラさんによる「おとのきもち」コンサートを地域交流スペースで開催しました。コロナ禍によりみんなで集まるイベントが出来なかったため、久しぶりの屋内コンサートとなりました。

第1部「映像に合わせた楽器の生演奏と歌のコンサート」、第2部「絵本とお話と音楽」、第3部「おもちゃのチャチャチャに合わせて楽器を鳴らそう」と盛りだくさんの内容。

第1部では、スクリーンに映し出される秋の歌にちなんだ映像や歌詞を見ながら、コンサートを鑑賞しました。知っている歌がたくさんあり、利用者や職員皆で口ずさみながら楽しみました。第2部では、スクリーンに映し出された絵本の読み聞かせとシーンに合ったピアノやフルートの演奏があり、利用者の皆さんはスクリーンに集中し、音楽を聴きながら絵本の世界に入っているようでした。第3部では、「おもちゃのチャチャチャ」に合わせて、打楽器や鈴、ツリーチャイムなど思い思いの楽器を鳴らして、最後は皆で一体となり演奏をすることができました。あっという間に時間が過ぎ、皆さんしっかり覚醒して参加し、「芸術の秋」を楽しめました。



〚善意、令和5年8月～10月

寄付金 (順不同 敬称略)

寄贈品(日用品・食品他) (順不同 敬称略)

7月 株式会社トヨタレンタリース兵庫
匿名



職員の異動 令和5年8月～10月

入職

8月1日付 吉原 魁 (看護師)
9月1日付 笠松 香那 (看護師)
10月1日付 塚北 雄哉 (看護師)

退職

8月31日付 小松 千恵子 (看護師)
柿本 八千代 (看護師)
大島 嘉恵 (看護師)
松尾 美晶 (介護福祉士)
吉原 魁 (看護師)
9月22日付 上井 みほ (保育士)
9月30日付 長尾 萌花 (看護師)
10月30日付 橘 蘭 (介護福祉士)

利用者様の作品介绍

～ハロウィンツリー～

西病棟 皆川 さやか

西病棟では制作をする事が多く、段ボールを用いて利用者に関わりながら大型の制作物を作ったり、短期入所では制作工程の動画を撮影し保護者の方に見ていただく事もあります。利用者一人ひとりのベッドサイドには制作したものを展示するホワイトボードがあり、制作した時だけではなくその後の利用者との交流にも繋げています。

また、季節の変化を感じる活動として、個別や小グループでその日一日で作り上げるのではなく、全利用者が協力して大きな作品を何ヶ月もかけて作ることもあります。

今回は1日での制作ということで立体的なかぼちゃとハロウィンツリーに挑戦しました。制作活動することを伝えると笑顔で声を出される様子が見られ、ヒーリング音楽に包まれてハロウィン仕様の髪飾りを作りはじめました。緩衝材で球を作りオレンジの花紙で包みます。画用紙に目や鼻を書き切り抜けば立体カボチャの完成です。

ハロウィンツリーはハロウィンのイメージの木を画用紙に書き、ハロウィンに関するイラストを複数用意して、利用者どこに何を貼るのか視線や手の動きで決めていきました。「ここでもよろしいですか?」の問いかけに手でぎゅっと貼り付ける仕草も。完成した時には笑顔があふれていました。



編集後記

長かった夏も過ぎ、秋らしくなりました。過ごしやすい気候になって、芸術、スポーツ、行楽、味覚狩り等々イベントに参加する機会が増えるのではないのでしょうか。西宮すなご医療福祉センターでは今年も療育祭が行われ、各部署で様々な催しを用意して利用者の方に楽しんでいただきましたので、その様子などもお届けしました。

清水 奈都美

